

# ともしび

2014



曹洞宗の大本山である、福井県の永平寺と  
 神奈川県そうじじの總持寺。この二つのお寺では、毎年  
 二月下旬から三月末日まで、新しく修行にや  
 つてくる僧侶を迎え入れています。

四年前の二月、私はたくさんの方々わらじの激励  
 を受け、草鞋を履き、厳しいと言われる永平  
 寺へと向かって行きました。山門へ続く道には  
 たくさんの雪が積もり、一歩進むたびに草鞋  
 の裏で雪が溶け、染みこんできます。その時感  
 じた凍りつくような冷たさは、今でも忘れら  
 れません。当時の私には、様々な思いや葛藤  
 がありました。修行のための身支度をしている  
 時のやる気に満ちた気持ち。一般社会から離  
 れた生活を送らなければならないという不安。  
 毎年二月になると「あの頃はいろいろ考えた  
 なあ」などと、当時の気持ちを懐かしく思い出  
 します。

〈村上 光龍〉  
むらかみ こうりゅう



卒業生 本多清寛  
『ともしび法話会の思い出を語る』

「卒業生よりの」挨拶

今月を持ちまして、本多は「ともしび法話会」を卒業します。思えば、この三年間、とてもたくさんのことがありました。そこで今回は、これまでの三年間の思い出を語っていきたいと思います。

\* \* \* \*

Q1. 初めて参加した時の思い出

やはり、すごく緊張しました。私は大学生の時、人前で話す機会が多い方だったので、そんなに緊張しないかと思っていたのですが、全くだめでした。三年間、人里から離れた場所で修行していたこともあってか、人前に立つこと自体、緊張するようになっていたようです。そのせいで、最初の自己紹介が上手く出来なかったことを覚えています。それでも、法話会の最後にみなさんと握手をした時は、私の手を握り返し、優しい言葉をかけて下さるみなさんのおかげで、とても気持ち落ち着きました。

## Q2. 特に印象深かった出来事について

私にとって印象深かったのは、職員さんからの言葉です。私はお寺で育ちましたので、自分よりも年上の方と接することは多かったです。そこでは自分の話はせず、話を聞くばかりでした。ですから、自分よりも年上の方々に何をお話すればいいのかわからず、とても悩んでいました。そんな時に、職員の方から「普段とは違う人達が来て下さるだけでありがたいんですよ」という言葉を頂きました。私はそれを聞いて、変に肩肘を張っていたことに気づき、積極的にお話ができるようになりました。

## Q3. 三年間の中で何を学んだか

人に伝えることの難しさを学びました。どうすれば自分の考えていることを正確に伝えられるのか、伝えようとする自分の考えは本当に正しいのか。これらは不安となつて私に押し寄せてきました。不安を無くすためには、仏教に関する書物を読んで、自分の理解を深めるだけでなく、

それが伝わっていくのかどうかを法話会のメンバーにも確認します。この確認作業はとても大切なことなのですが、実はかなり辛い作業です。自分では伝わると思っている言葉を考えているのに、相手には伝わっていないと言われます。あるときは自分を否定されているようで、悲しくなることもあります。それでもなんとか頑張ることができたのは、きちんと確認してくれる法話会のメンバーと、その法話を聞いて下さるみなさんがいらつしやったからです。これからも伝えることについて学んで行きたいです。

## Q4. 今後の予定と抱負について

私はもう少し東京に残って勉強します。これまでやってきたことを踏まえて、もう一度仏教を考えていきたいと思えます。もしかしたら、みなさんとお会いする機会もあるかもしれません。その時は、笑顔で迎えて頂けたら嬉しいです。ありがとうございました。

ほんだしょうかん  
本多清寛 合掌

# 私の ふるさと



第十八回

館山城 たてやまじょう



天守閣

今回ご紹介するのは、千葉県館山市の歴史スポットである「館山城」たてやまじょうです。

このお城は、小高い丘の上に立っていて一番ままで行くと市内と太平洋が一望できます。その他に、周りには公園が併設されており、家族連れが遊んだり、ピクニックに来たりしています。館山城は南房総を支配していた里見氏の居城となっていたところでした。この里見氏は江戸時代の有名な小説『南総里見八犬伝』にも登場し、この館山城が舞台となっています。

子供のころ祖母と一緒に散歩でここに何度も訪れましたが、その時には、お城や小説には興味がなく、公園にある遊具で遊んでいるだけでした。成長して、歴史に興味湧き、『里見八犬伝』のことや里見氏を学んだからでしょうか、このお城を訪れるたび、壮大な物語の舞台となったこの場所にロマンを感じずにはいられないのです。

〈松葉 裕全〉  
まつば ゆうぜん

〒105-8544 東京都 港区 芝 2-5-2 曹洞宗宗務庁内  
曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 一般教化課程  
ともしび法話会

TEL 03-3454-6844 FAX 03-3454-7180

2014(平成26)年 2月1日発行 第382号